

## 8-4-5 公益活動WG

### 1. 設置目的と組織

#### (1) 公益活動WGの設置目的

本WGは、建設コンサルタント会員全般の技術力向上と公益活動を目的として、以下の方策に取り組んでいる。

- a) 本省・国総研・土研と建コン協との技術的連携・協議事項に関する窓口機能
- b) コンサルタント相互の技術支援制度の創設
- c) 発注者からの技術相談窓口の設置
- d) 国総研・土研との分野別実務者レベルの意見交換会の開催
- e) 本部・支部活動成果（技術資料）の共有ならびに発注者への配布
- f) その他 会員相互および公益に関する活動

#### (2) 組織

令和元年5月までは、技術課題対応WGの下でSWGとして活動を行っていた。組織改編に伴い、統括技術委員会副委員長代表4名から構成される組織となった。（従前は技術委員会より副委員長計3名、道路構造物、道路、河川計画、河川構造物の各専門委員会より各1名、広報委員会より1名、マネジメントシステム委員会より2名の合計10名の委員で構成）。活動が道路および道路構造に関する技術的事項に限定されているため、現時点では組織を縮小し関係する委員のみで構成されている。また、事務局はインフラ研が担当している。

### 2. 活動記録

本WGは、本省国道・技術課、技術調査課、国総研・土研の道路・橋梁担当者及び研究者と建コン協との窓口としての活動が主である。委員自ら実施することの他に、改定道路橋示方書連絡WG、道路橋技術相談窓口対応WG、道路構造物専門委員会と連携して活動することが多い。

- 1) 令和元年5月：・委員の見直し/・活動方針の立案/・共同研究「道路橋の性能評価技術に関する共同研究」立ち上げ/・改定道路橋示方書対応WG、技術相談窓口、設計ソフトウェア連絡WG、その関連WGとの作業調整

- 2) 令和元年6月：・国総研・土研との実務者意見交換会（各支部および本部関連委員出席25名（建コン側））(6/19) 議題：・示方書適用上の課題/・ダブルチェックの状況と対応/・他  
・京都大学玉越教授との意見交換会(6/14)
- 3) 令和元年7月：・共同研究対応2件対応（①既設道路橋群の維持管理計画の継続的改善に関する研究②道路橋の性能評価技術に関する共同研究）・「ダブルチェックに対する今後の対応」について本省と協議
- 4) 令和元年8月～令和元年11月：・ダブルチェック集計と第2段階照査実施要領について、本省と協議  
・国総研・土研実務者意見交換会開催(11/14)  
・アセット共同研究第1回打合せ（近畿支部＋本部）(12/24)
- 5) 令和元年12月：・性能設計評価共同研究事前説明打合せ(12/12)
  - i) 性能評価を求められる部分の抽出、特殊な橋梁形式の事例について収集
  - ii) 研究員については、道路構造物専門委員会に人選依頼  
・設計要領照査の再依頼対応(12/12)  
・特段の照査をお願いしたい項目の説明打合せ、国総研中尾氏・開発局後藤氏（事務局）  
・アセット共同研究第1回打合せ（近畿支部＋本部委員出席）(12/24)
- 6) 令和2年1月：・ダブルチェック結果・第三者調査について本省打合せ(1/9)  
・設計要領照査結果（原案への加筆）提出（協力 改定道路橋示方書対応WG分野別代表）(1/21)
- 7) 令和2年2月～令和元年4月：・アセット共同研究合同打ち合わせ(2/7)、・アセット共同研究第2回打合せ(4/22)

### 3. 次年度の活動について

次年度も改定道路橋示方書連絡WG、道路橋技術相談窓口対応WG、道路構造物専門委員会と連携して、橋梁全般に対する課題対応を行っていく。

（公益活動WGWG長 鈴木 泰之）